

IZ形 誘導形 距離 継電器

Type IZ Induction Type Distance Relay

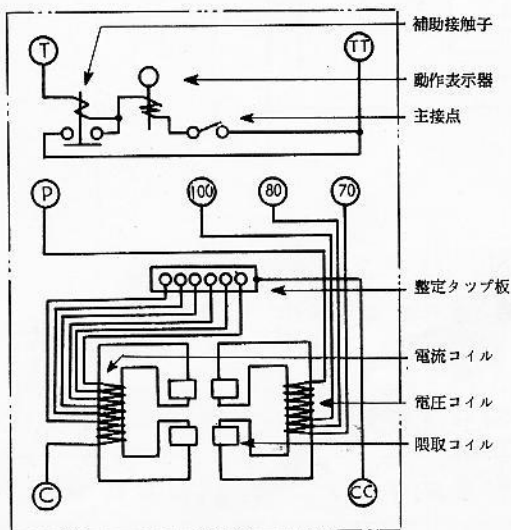
IZ形 距離継電器は、送電線における短絡保護を目的とする誘導円板形の距離継電器で、原理は一般の電圧抑制付過電流継電器と同様、その動作時間は故障点までの電氣的距離にほぼ比例します。したがって短絡電流が平常時の負荷電流とあまり変わらないような場合でも確実に短絡故障を検出し、時限選択しゃ断を容易にします。

一般に高速度方向継電器と組み合わせて方向距離継電器として使用される場合もあります。

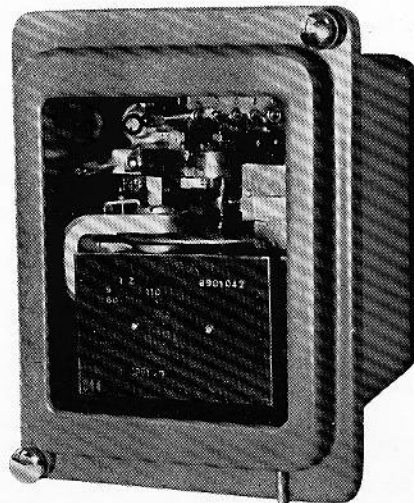
構造と動作

本器は誘導円板形の機構を用いたもので、同一の円板に対して互に反対方向に作用する2個の隈取コイル式電磁要素を設け、回路電流による動作トルクは主接点を閉路する方向に働き、電圧による抑制トルクは開路する方向に作用するよう構成されています。

抑制コイルに加わる電圧は、故障点からの距離に比例しますから、距離が遠い程抑制トルクは大きく作用します。すなわち同一整定値の時その動作時間は故障点までの距離に比例したものとなります。



第2図 内部接続図(裏面)

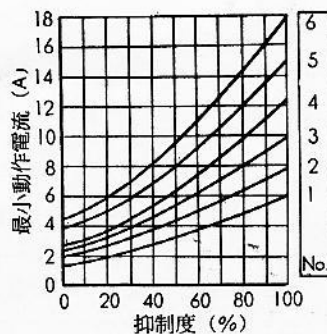


第1図 IZ形 誘導形距離継電器(埋込形)

動作値の整定

電流コイルには始動電流調整用に6タップ No. 1 ~ No. 6と、電圧コイルに電圧抑制効果調整用の3端子 70、80、100% がそれぞれ設けられており、系統の状況に応じて感度を適当に整定することができます。

抑制用の端子は定格電圧に対する抑制効果の%を示します。このほかに時限目盛板と時限整定レバーを設けており、任意の時限整定ができます。



- タップ No. は特性曲線右端の No. を示します。
- 曲線は電圧端子 P → 100 の場合を示します。

第3図 動作特性

接点と表示器

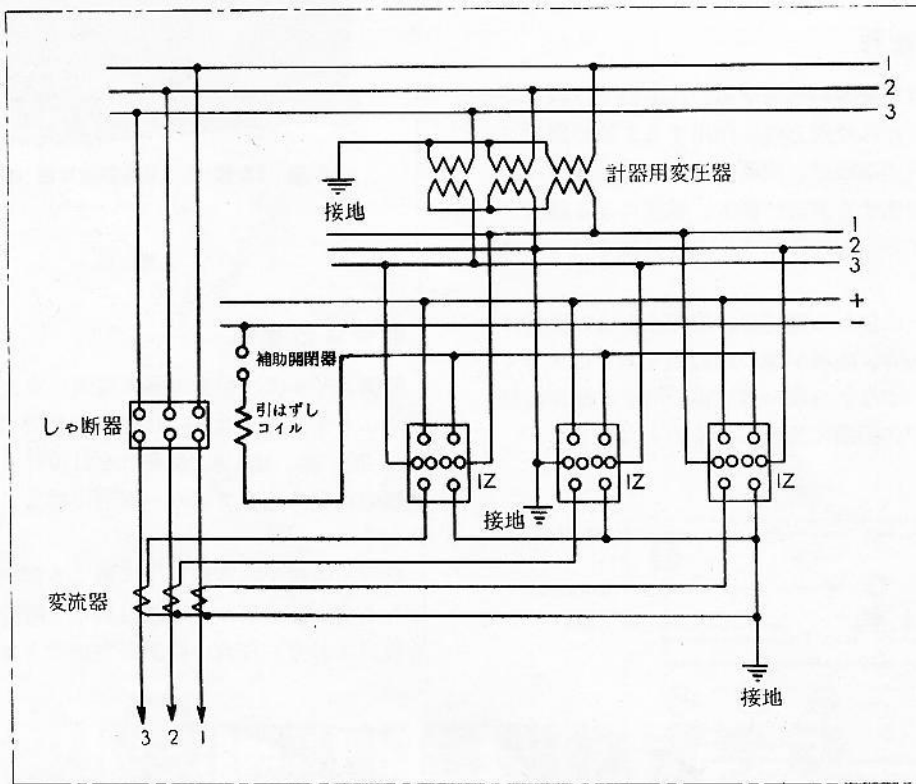
主接点は純良な銀で作られており、固定、可動両接触子は過大な入力による接触時においても振動したり、火花等を発生して接触不良を起こすことのないよう、特に考慮されています。また補助接触子を備えており、主接点が閉路するとその電流容量を増すために表示器とともにしゃ断器の引はずし電流により直ちに動作し、主接点と表示器を保護します。

継電器が動作した場合には動作表示器の小窓に黄色の表示片が表われるようになっており、手動で復帰させるまで動作したことを表示しています。

適 用

本器は CRH 形 高速度方向継電器と組み合わせ、単一回線送電線の短絡故障を保護することができます。特にこれらの接点相互の動作協調は十分考慮されています。

外 部 接 続



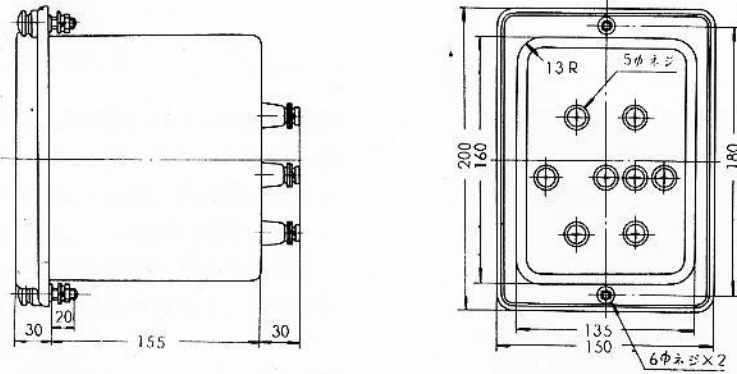
第 4 図 外部接続図 (裏面)

IZ 形 誘導形 距離継電器 標準定格表

形 式	定 格	電流整定範囲	抑制整定範囲	消費電力	補助接触子 表 示 器	周波数	備 考
IZ	110 V 5 A cont	No. 1 ~ No. 6	70, 80, 100 %	タップ電流にて 3.5 VA 110V にて 3.5 VA	1 A または 2 A	50 または 60	埋込形

- (注) 1. 重量は約 3.8 kg です。
2. 表面丸形、引出形も標準として製作しております。

外形寸法



第5図 IZ形 継電器外形寸法図(埋込形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形 状 : 埋込形、引出形、表面丸形の別
2. 用 途 : 使用回路と保護継電方式
3. 周 波 数 : 50、60 の別
4. 制 御 回 路 : シャ断器の定格
補助接触子 1、2 A の別
5. そ の 他 : 標準外の仕様がある場合